

府中市バリアフリー基本計画について

本市では、平成16年1月に府中市交通バリアフリー基本構想を策定し、府中駅及び府中本町駅を中心にバリアフリー化を推進してきました。基本構想の策定から21年が経過し、法律が改正され社会情勢が変化中、本市において誰もが円滑に移動や施設の利用ができるよう、面的・一体的なバリアフリー化を図ることを目的として、バリアフリー法に基づく移動等円滑化促進方針と移動等円滑化基本構想を一つに取りまとめ、府中市バリアフリー基本計画を策定しました。

計画の期間

〈10年間〉

令和7年度 ▶▶▶ 令和16年度

5年ごとの評価を令和11年度及び令和16年度に行います。

特定事業の推進

特定事業とは、生活関連施設・生活関連経路、特定車両等のバリアフリー化を具体化するためのものです。特定事業を定めた事業者には、特定事業計画の作成と、これに基づく事業の実施義務が課せられます。

本市では、重点整備地区のバリアフリー化を促進するため、公共交通（旅客施設、路線バス・コミュニティバス、タクシー）、道路、交通安全（信号機等）、建築物（駐車場を含む。）、都市公園、人的対応、心のバリアフリー等、4地区で853の事業を位置付けました。

取組の対象となる地区・施設・経路

本市では、文化センターを中心とした日常生活圏域（11エリア）を基礎単位として、全ての日常生活圏域を含む市全域を移動等円滑化促進地区に設定し、4つの地区を重点整備地区に設定しました。

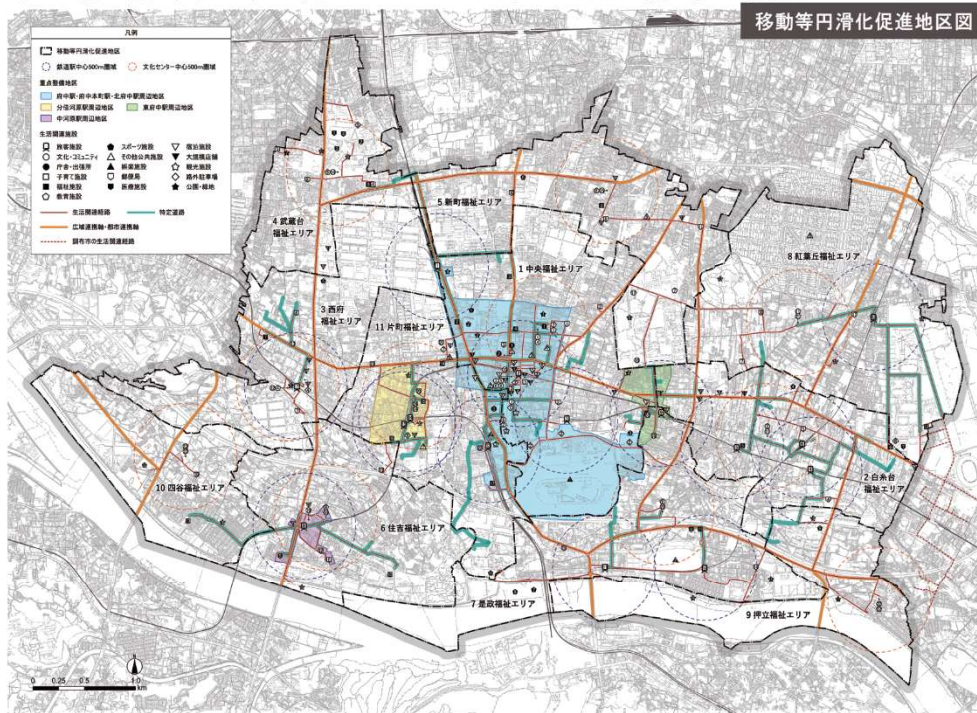
〈重点整備地区〉

府中駅・府中本町駅
・北府中駅周辺
重点整備地区

分倍河原駅周辺
重点整備地区

東府中駅周辺
重点整備地区

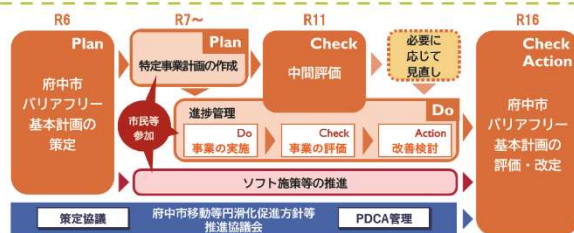
中河原駅周辺
重点整備地区



バリアフリー基本計画の進行管理

本計画に基づく特定事業計画の作成、事業の実施、評価、改善のPDCAサイクルに基づき、本計画の段階的かつ継続的な発展を推進します。

なお、計画の進行管理は、高齢者、障害者等の団体や施設管理者等の委員で構成する府中市移動等円滑化促進方針等推進協議会で行います。



バリアフリー化に関する配慮事項

各施設のバリアフリー整備に当たっては、バリアフリー法に基づく移動等円滑化基準への適合に努めるとともに、関連するガイドラインや条例、市民からの意見を踏まえた整備を推進します。

公共交通

(府中市バリアフリー基本計画88ページ～100ページより抜粋)

- ・【ホーム】ホームドアや可動式ホーム柵を設置する。
- ・【バス乗降場】乗車位置に合わせた視覚障害者誘導用ブロックを設置する。
- ・【タクシー】車椅子利用者等も利用できる福祉タクシー（ユニバーサルデザインタクシーを含む。）の導入を促進する。



可動式ホーム柵



上屋や視覚障害者用誘導用ブロックが設置されたバス乗降場

道路

- ・【歩道のある道路】十分な幅員が確保できない歩道は、沿道敷地内での通行スペースを確保するなど、沿道敷地と連携した快適な歩行空間の形成を促進する。
- ・【歩道のない道路】電柱や街灯等が歩行者の通行の妨げにならないように配慮する。



通行の妨げとなる電柱



沿道敷地を活用した交差点における滞留スペース

交通安全（信号機等）

- ・【信号機等】音響式や経過時間表示式などのバリアフリー対応型信号機の設置を促進する。
- ・【横断歩道】歩道の視覚障害者誘導用ブロックと連続したエスコートゾーンの設置を促進する。



経過時間表示式信号機



音響式信号機・高齢者等感応式信号機



エスコートゾーン

建築物（駐車場を含む）

- ・【トイレ】利用者に配慮した車椅子利用者用トイレを設置する（大型車椅子の使用や介助者の同伴を想定した十分な広さの確保、排せつや着替えの介助が可能な大型ベッドの設置など）。
- ・【案内・情報バリアフリー】触知案内図を設置する場合は、音声案内や視覚障害者誘導用ブロックの設置等により、視覚障害者が設置位置を把握できるように配慮する。



出入口から案内所までの連続した視覚障害者用誘導ブロック



大型ベッド

都市公園

- ・【園路】主要な園路は平坦で固く締まっていて滑りにくい舗装とする。
- ・【トイレ】利用者に配慮した車椅子利用者用トイレを設置する。
- ・【遊具】インクルーシブ遊具の設置を促進する。



子どもの利用に配慮した柔らかい舗装



車椅子利用者用トイレ

「心のバリアフリー」とは

様々な心身の特性や考え方を持つ全ての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションを取り、支え合うこと（府中市バリアフリー基本計画178ページより）です。

福祉まつりにおける取組も、心のバリアフリーを推進するために実施しています。

自分にできることからやってみよう！ 「心のバリアフリー」につながるアクション

2023

12

月号



TOKYOクイズに挑戦

これは2025年に東京で開催される耳のきこえない「デファスリート」が熱戦を繰り広げる大会のエンブレム。何という大会？

答えは「広報東京都こども版」ウェブサイトをチェック！

TOKYO 2025
2020 SUMMER OLYMPICS

もっと詳しい情報は、
広報東京都こども版
ウェブサイトに掲載しています。

ウェブサイト: <https://www.kodomo.metro.tokyo.lg.jp/>

QRコード

東京都こどもホームページ

楽しみながら東京の魅力や施設について知ることができるよ！

東京都こどもホームページ
<https://tokyo-kodomo-hp.metro.tokyo.lg.jp/>

QRコード



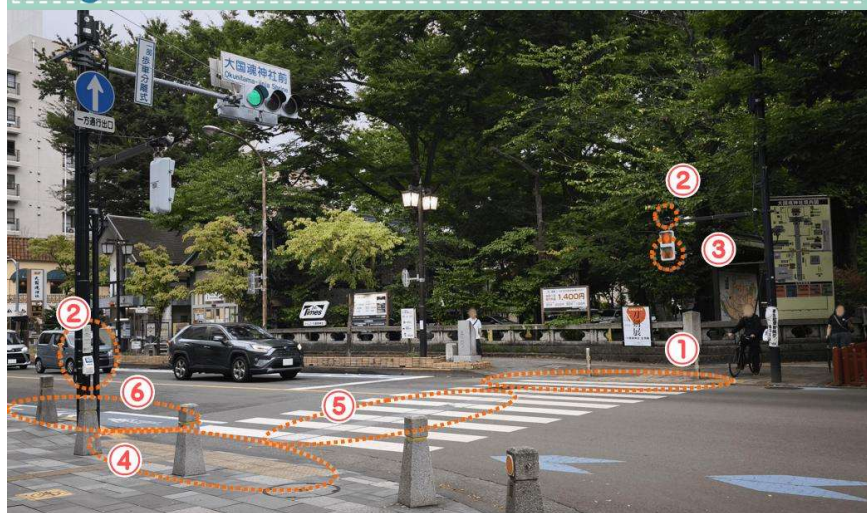
この交差点では、バリアフリーの視点から、
どのような工夫がされているでしょうか？



めくってみよう



さまざまな人が移動しやすいように
道路や信号機のいろんな工夫がされています。



①

歩道と車道の段差

車椅子やベビーカーでも通れるように、段差を小さくし、傾きをゆるやかにしています。同時に、段差は目の不自由な方にとって、歩道と車道を区別する重要な役割があるため、2 cm くらいの段差が必要です。

②

音響式信号機

「カッコー」「カカッコー」や「ピヨ」「ピヨピヨ」という音で、青信号のタイミングや横断方向を伝えてくれます。目の不自由な方の安全な横断を支えています。



③

経過時間表示式信号機

青信号や赤信号があとどれくらい続くかを、目盛で表示し、無理な横断を防止します。



④

視覚障害者誘導用ブロック

目の不自由な方を行きたい場所へ安全に誘導したり、危険な場所を知らせたりするものです。すべ滑りにくさや、わかりやすさ、弱視の方にとっての見やすさ等への配慮が必要です。

⑤

エスコートゾーン

横断歩道で、目の不自由な方が白杖や足の裏で触れて、横断の手掛かりとする突起部分です。目の不自由な方にとって、横断歩道上をまっすぐ歩くことは簡単ではありません。歩道の視覚障害者誘導用ブロックと連続設置が必要です。



⑥

自転車専用通行帯

歩行者と自転車の通行を分離するために車道に設置されているものです。これによって、歩行者と自転車の双方が安全に通行することができます。



福祉まつり クイズ(交差点)



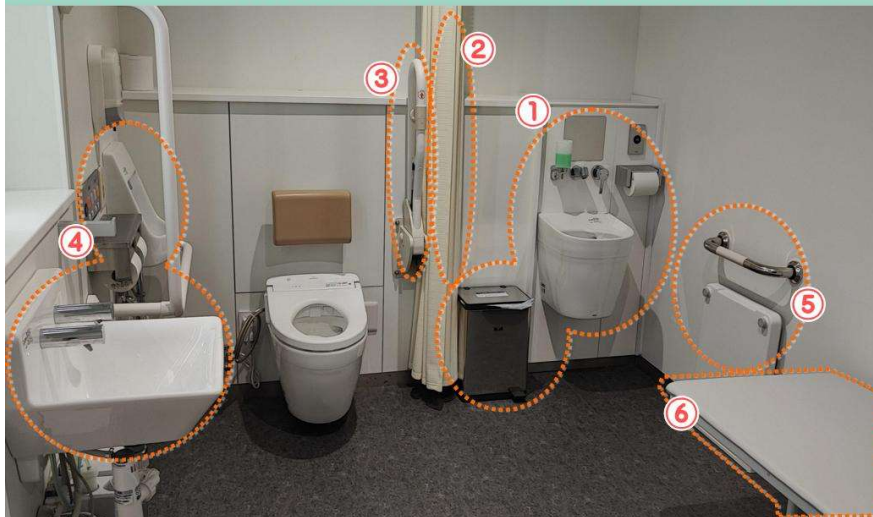
このトイレでは、バリアフリーの視点から、
どのような工夫がされているのでしょうか？



めくってみよう👉



車椅子使用者やオストメイト、介助が必要な人など、
障害の特性に合わせた工夫がされています。



①

オストメイト用汚物流し
オストメイト（人工肛門や人工ぼうこうをつけている方）が排泄物を処理するためのものです。温水機能や鏡、汚物入れ等と一緒に設置されています。



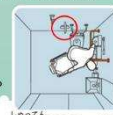
出典：TOTOWebサイト

②

目隠し用カーテン
知的障害や認知症の人など、異性による同行が必要な場合にもバリアフリートイレを使用することがあります。介助が必要な人のプライバシーを守るためにカーテンが設置されています。

③

可動式手すり
車椅子からトイレへ乗り移る方法は、ひとりひとりの身体状況によって異なります。様々な使い方ができるように柔軟に対応できる可動式手すりを設置しています。



出典：TOTOWebサイト

④

小型手洗い器・洗面台
こがたであらきせんめんだい便座に腰掛けた状態で手を洗いたい場合もあるため、便座から手が届く位置に小型手洗い器を設置しています。洗面台は、車椅子で近づけるように、足元が広く開けてあります。

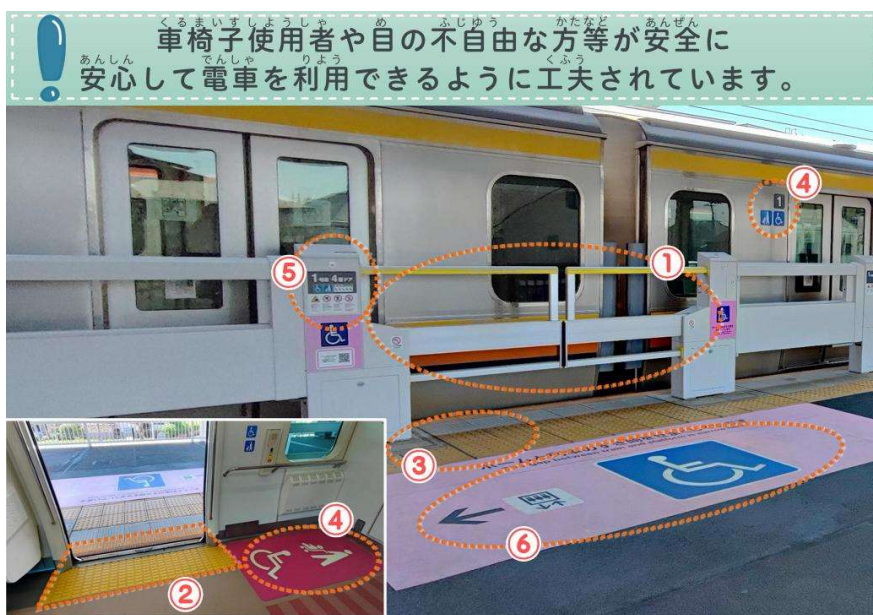
⑤

着替え台
きかくだいじんこう人工肛門や人工ぼうこうから排泄物が漏れる等のトラブルのときに、床の不清潔さを気にせずに着替えることができます。また、乳幼児のおむつ替えを立ったままの状態で行うときにも使用します。

⑥

大型ベッド
かいじょ介助によって高齢者や、障害者、幼児の着替え、おむつ交換、カテーテルを用いた排泄物を行うときに使用します。ベッドを広げても車椅子使用者と介助者が一緒に入れる広いスペースが必要です。

福祉まつり クイズ(だれでもトイレ)



① 可動式ホーム柵
ホームからの転落事故を防ぐための方法の1つです。その他にも、天井まで仕切られているホームドアや、内方線付き点状ブロック (③を参照) などの対策がされています。

② 段差や隙間の縮小
ホームと電車の間に生じる段差や隙間をできるだけ小さくして、安全に乗り降りができるようにしています。

③ 内方線付き点状ブロック
警告を伝える点状の突起に加えて、ホームの内側を示す一本の線状突起を設けた視覚障害者誘導用ブロックです。これによって、目の不自由な方の転落事故を防止しています。

④ 優先スペース
車椅子やベビーカーの方が安心して過ごせる場所を確保し、マークで示して、利用者への配慮を啓発しています。電車内の揺れに備えて、体を支える手すりが設置してあります。

⑤ 点字
列車の進行方向や何号車にいるか等の情報を、ホームドア上に点字で表しています。

⑥ ピクトグラムによる誘導
電車を降りた車椅子の人等がエレベーターの方向を一目でわかるように、ピクトグラムが表記されています。

福祉まつり クイズ(駅ホーム・車両)



コード化点字ブロックを体験してみよう！

読み取ってみよう！



かなざわだいがくかいほう
(金沢大学開発)

Android



iPhone



アプリはここからダウンロード！

視覚障害者誘導用ブロックの25個ある点に印を付けたもので、これをスマートフォンのアプリで読み込むことで、音声情報を提供するものです。

視覚障害者誘導用ブロックは、「誘導」と「警告」の2つの情報にかざられますが、コード化点字ブロックでは、現在地や避難所などの音声情報を得ることができます。

設置箇所を拡大中！



とうきょうとせたがやくよくしよほんちようしや
東京都世田谷区役所本庁舎



みやぎけんせんたいししやうがいそうごうしえん
宮城県仙台市障害総合支援センター

しゅってん ごうどうがいしや
出典：W&M システムズ合同会社webサイト

福祉まつり コード化点字ブロック体験シート

第45回福祉まつり バリアフリー基本計画に関するブースアンケート

府中市バリアフリー基本計画に関するブースをご覧ください、ありがとうございます。
かんたんなアンケートにご協力をお願いいたします。

バリアフリーの取り組みや考え方がわかりましたか？

◆府中市バリアフリー基本計画の説明パネル

- ☐ よくわかった
- ☐ すこしわかった
- ☐ あまりわからなかった
- ☐ まったくわからなかった

◆心のバリアフリーに関するパネル（東京都福祉局作成）

- ☐ よくわかった
- ☐ すこしわかった
- ☐ あまりわからなかった
- ☐ まったくわからなかった

◆バリアフリーに関するクイズ

- ☐ よくわかった
- ☐ すこしわかった
- ☐ あまりわからなかった
- ☐ まったくわからなかった

◆バリアフリーに関するアプリの体験

- ☐ よくわかった
- ☐ すこしわかった
- ☐ あまりわからなかった
- ☐ まったくわからなかった

Web版アンケート
フォームはこちら



年齢を教えてください。

- ☐ 10歳未満
- ☐ 10歳～19歳
- ☐ 20歳～29歳
- ☐ 30歳～39歳
- ☐ 40歳～49歳
- ☐ 50歳～59歳
- ☐ 60歳～64歳
- ☐ 65歳～74歳
- ☐ 75歳以上
- ☐ 回答しない

性別を教えてください。

- ☐ 男性
- ☐ 女性
- ☐ その他
- ☐ 回答しない

ブースの感想や、府中市のバリアフリーについてのご意見がございましたらお教えてください。

福祉まつり アンケート